

技能等各種講習会の予定について

安全適正就業推進部 理事 油坐 正



シルバー人材センターは地域に密着した就業機会を提供し、地域貢献とともに生涯現役実現の役割を担う会員の皆様に就業機会に必要な能力を見につける技能各種講習会を実施していますので積極的な参加をお願いします。今後の予定は以下のとおりです。

| 講習会名 | 内容 | 開催予定の時期 | 場所 |
|----------------|------------------------|---------|--------------------|
| 第1回植木剪定技能講習会 | 樹木種別の剪定や縄の使用方法 | 9月上旬 | 社会福祉センター 市制記念公園 |
| 第2回除草・刈払機技能講習会 | 除草及び刈り払い機の取り扱い方法 など | 11月上旬 | 社会福祉センター |
| 網戸・襖・障子技能講習会 | 張替方法など | 2月中旬 | 社会福祉センター |
| 第2回植木剪定技能講習会 | 樹木種別の剪定や縄の使用方法 | 3月上旬 | 社会福祉センター 市制記念公園 |

理事会報告

令和2年度第3回理事会を令和2年6月12日(金)午後1時30分から、東初富公民館にて開催。
以下の件について承認及び協議をしました。

I. 決議事項

- 1) 会員の入会(案)について

II. 協議・報告事項

- 1) 交通安全・熱中症予防講演会は中止とし、チラシで全会員に6月号鎌シル便りと一緒に配布する
- 2) 第6回親睦懇親会(芋煮会)は中止
- 3) 第47回市民まつりは中止
- 4) 第10回市後援・市民とのグラウンドゴルフ大会は中止
- 5) 4月・5月の実績報告について
- 6) 新規就業者の紹介と退会者について
- 7) 各部会の事業報告について
- 8) その他
理事互助会会計報告について

III その他

令和2年千葉県夏の交通安全運動

期間 7月10日(金)～19日(日)
スローガン 『交さ点 命のきけんが かくれんぼ』

新型コロナウイルスを想定した『新しい生活様式』の実践例(感染症対策)

厚生労働省HP(新しい生活様式実践例より抜粋)

| | |
|--|---|
| <p>1)一人ひとりの基本的感染対策 感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗い(30秒) 移動に関する対策 ①感染流行地域からの移動、感染流行地域への移動は控える ②帰省、旅行は控えめ ③発症時の為、いつ、どこで、だれと会ったかをメモ</p> | <p>2)日常生活を営む上での基本的な生活様式 ①まめに手洗い・手指消毒 ②せきエチケットの徹底 ③こまめに換気 ④身体的距離の確保 ⑤3密の回避(密集、密接、密閉) ⑥毎朝体温測定、健康チェック。 発熱、風邪症状時は自宅で療養</p> |
| <p>3)日常生活の各場面での生活様式 買い物 ①通販も利用②少人数で空いた時間に③計画を立てて素早く済ませます 娯楽 スポーツ ①公園はすいた時間、場所を選ぶ②ジョギングは少人数で③狭い部屋での長居は無用 食事 ①持ち帰りや出前②対面でなく横並びで座る③おしゃべりは控えめに</p> | |
| <p>4)働き方の新しいスタイル ①ローテーション勤務 ②対面での打ち合わせは換気とマスク</p> | |
| <p>5)体調に異変を感じたら迷わずに病院に行く</p> | |

コミセン周辺めぐり(3)

鎌ヶ谷コミュニティセンターとその周辺(3)

牧士清田家の墓地から木下街道に戻ると、向かい側右手に柿渋色をした木造二階建てが見えます。「丸屋」と呼ばれた旅籠屋の一つです。鎌ヶ谷宿は大仏墓地から延命寺付近までとされており、江戸時代後期の史料では旅籠屋が7軒、明治初年の史料では4軒あったと言われています。農政学者大原幽学も「丸屋」に泊まったそうです。また、現存する「丸屋」は明治30年ごろ建てられたもので、正面入り口の揚戸構や庇は宿場の面影を伝えるとされています。本年3月19日、国の文化審議会が「丸屋」と「丸屋離れ」を登録有形文化財(建造物)に登録するよう文部科学大臣に答申したとのこと



再び新京成電鉄の踏切を渡って八幡神社を向かいます。石段を上ると本殿に向かって左側に庚申塔が整然と並んでいます。数えると青面金剛像を含めて丁度百基あります。「百庚申」と呼ばれ、多数の塔をつくれれば多くの利益に与るとの思いから、天保12年(1841年)・13年にかけて建立されました。近世においては全国的に庚申講が結成されました。60日に一度くる庚申の日には、中国道教に由来する「三尸(さんし)の虫」が人間の身体から抜け出してその人の悪事を天帝に告げるため、その夜は眠らずに過ごすという風習です。実際は豊穡を祈る信仰ともなっていて、般若心経を読んだ後はご馳走を食べて楽しんだそうです。また、本殿右手奥には「庚申道標」があります。大仏十字路付近にあった庚申塚から移動したもので、青面金剛王と書かれた台座に「東さくら道」「西こがね道」の文字が刻まれており道標を兼ねていたものと思われます。大仏十字路は江戸時代も主要な交差点でした。しかし、近代に入ると生活様式の変化に伴い、多くの講は塔を残して衰亡していったようです。
 文責:澤村 (参考:鎌ヶ谷市史中巻 ほか)

| | | | | | |
|-------------------------|--|---------------------|--|--------------|--|
| <p>(入会者) 「新しい仲間です」</p> | | | | | |
| <p>第一地区2班 鏡 俊夫</p> | | <p>第四地区3班 大山 智子</p> | | | |
| <p>第三地区2班 寺尾 淑美</p> | | <p>第五地区8班 宮本 雄二</p> | | | |
| <p>第三地区3班 八重樫 千代志</p> | | | | | |
| <p>男性 3名</p> | | <p>女性 2名</p> | | <p>合計 5名</p> | |
| <p>(退会者) 「お疲れさまでした」</p> | | | | | |
| <p>男性 7名</p> | | <p>女性 2名</p> | | <p>合計 9名</p> | |
| <p>令和2年6月12日 現在</p> | | | | | |

お知らせ * 7月号から毎月の『事業実績』の掲載をしばらく止める事と致します。よろしくお願いたします。